

青葉、青梅、青蛙。夏の季語には、なんだか青という語が多い。いずれも響き爽やかで、梅雨を、そしてやつてくる初夏を予感させるが、ふと不思議に思う。勢いよく茂る木々の葉も、つんと固い果実も、飛び跳ねる小さな雨の使者も、青ではなくて、緑色ではないのか。

日本の固有語である大和言葉において、色とは赤・黒・白・青の四つのみであった。電球の光などなかつた時代、世界の色彩は、今よりもずっと捉えにくかつたであろう。

青葉、青梅、青蛙。夏の季語には、なんだか青という語が多い。いずれも響き爽やかで、梅雨を、そしてやつてくる初夏を予感させるが、ふと不思議に思う。勢いよく茂る木々の葉も、つんと固い果実も、飛び跳ねる小さな雨の使者も、青ではなくて、緑色ではないのか。

日本の固有語である大和言葉において、色とは赤・黒・白・青の四つのみであった。電球の光などなかつた時代、世界の色彩は、今よりもずっと捉えにくかつたであろう。

これらは色というよりむしろ、光の表現だったようだ。あかるいか、くらいかをあらわす「あか(明)」、「くろ(暗)」。もの「ことがはつきり見える様は「しろ(顎)」、(漠)」。この「あを」の中に、範囲の色が含まれていたと

杜のコラム

白・青、この四つのみであった。電球の光などなかつた時代、世界の色彩は、今よりもずっと

お釈迦さまの誕生日をいわう 花御堂に集う花まつり



去る5月3日、西山本堂にて花まつりが行われ、参拝者は甘露の雨に見立てた甘茶を、花御堂の中の誕生佛にかけてお祝いしました。

八幸山文庫

2906号

特集

八事山歳時記2・3ページ
夏の子ども行事9ページ
運営だより11ページ

面白いことに、この四色だけは文法上特徴的な使い方ができる。まず、いを付けて形容詞となることができる点。そして、一回繰り返して體語となることができる点。た。例えば、黒いとはいうけれど、紫いとは言わない。赤々、白々とはいうけれど、黄々や桃々とは言わない。古来より在った四つの色だけが、現代においても特別な位置にあるのだ。

さて「みどり」という語は平安時代に既に登場しており、決して新しいものではない。しかし、元は色そのものではなく、新芽や若葉、瑞々しい状態を表わしていたようだ。「嬰兒」(生命力あふれる生まれたばかりの赤ん坊)や「みどりの黒髪」(若々しく艶やかな黒髪)という言葉も、「みどり」の意味を知ると瞬におちる。色としての緑色は「あを」の中にずっと内包されていた。日本人にとっても、とても自然な色彩表現であり続けたのだ。

想耕茶会
|おもてなしの心|
11時、12時、13時、14時
竹翠亭にて



四月に行われた想耕茶会の様子

○東海三十六不動尊靈場お砂踏み
特別祈禱料
一千円
○東海三十六不動尊靈場
お砂踏み入壇料
三百円

三千円

二千円

五百円



△森のフリーマーケット



△ 箕の音楽祭



△五重塔特別開扉



△絵解き

八事山歳時記

春の陽気に誘われて 八事の森の春まつり

環境と工芸、森と自然がテーマにした八事の森の春祭りが、四月二十九日に盛大に開催されました。新緑の境内を歩くイベントや、フリーマーケット、森の音楽祭など、様々なイベントが行われ境内は多くの人出で賑わいました。



◆親子deお遍路 プチ体験

興正寺境内をめぐる体験型ウォークラリーが開催されました。八事の森の春まつりにあわせて行われ、当日は多くの親子連れにご参加いただきました。



春の巡礼シーズン来る

三月の終わり頃から境内は知多四国八十八ヶ所靈場巡礼者のお姿が多くなります。結願の御礼参りとして興正寺西山本堂、そして東山奥之院を参拝し、手を合わせて巡礼成満への感謝を伝えます。同行一人、またのご参拝を心よりお待ちしております。



四月十五日・五月六日に行われた「十三参りの日」に、十三才を迎える子女が集まり虚空蔵菩薩に智慧を授かるよう祈願しました。祈願の前には大書院にて法話と行儀作法講座が行われ、子どもたちも見守る家族もやや緊張した面持ちで臨みました。興正寺の十三参りは毎年旧暦の三月十三日(現在の四月中旬頃)前後に行われます。



四月十五日、高野山奥之院に入定された弘法大師空海に感謝の気持ちをお伝えする法会が行われました。当日は多くの参拝者が来寺し、今も私たちを見守っていてくださるお大師さまへ心を込めて手を合わせました。

智恵と福德を願う十三参り

お大師さまは
今も私たちのそばに 御正当

五月三日～五日の三日間、西山本堂にて大般若経転読祈祷会が厳修されました。大勢の僧侶によって転読される六百巻もの經典が起こそ風(梵風)は、魔やケガレを吹き払うと同時に經典の功德を授けると言られています。古くより五穀豊穣や國家安寧を祈願し執り行われてきたこの大法会は興正寺では一月・五月・九月の年に三度、行われます。

梵風が魔を吹き飛ばす 大般若経転読祈祷会



紗羅餐in八琴庵
『この日だけ!の美味しいお蕎麦』
はじめました。

毎月5・13・21日限定!!

八琴庵で美味しいお蕎麦をお召し上がりいただけます。
「蕎麦工房 紗羅餐」のスタッフが八琴庵で腕をふるいます。
八事で紗羅餐のお蕎麦を食べてほっこりお寺参り。

お品書き ●蕎麦各種 ●そばがきせんざい ●ヤゴトラカン

※該当の3日間は上記お品とドリンクメニューのみのご提供です



のは皆さまもご存じでしょう。でも、毎月お大師さまを讃嘆する法会「御影供」が厳修されていいことはあまり知られていないかもしません。



△聖法大師像(聖法堂)

毎月二十一日はお大師さまの日

前回まで、「ぼつくりさん」の名前で親しまれている興正寺の大隨求
明王さまについてお話ししてきました。今月からはテーマを変え、興
正寺を語る上で外すことのできない方をご紹介していきたいと思
います。それは「高祖弘法大師空海」です。お大師さまの名で親しまれ、
今もなお多くの人たちからの信仰を集められています。

師さまの御影(神仏や貴い身分の人の像、肖像画など)に手を合わせていただきたいのです。

興正寺では、毎月の御影供（月並御影供）は、西山本堂にて二十一日十四時から行われています。正御影供は、去る四月十五日に行われた「御正當」のことです。参加いただいた方もいらっしゃるかもしれませんね。こちらは興正寺では旧暦を見ますので、毎年日付が変わります。

御影をよく見てみよう

お大師さまは迷い悩み苦しむ私たちを救うため、承和二年(八三五)三月二十一日に御入定されました。(二月十九日)入定とは自らが仏となり生き続けて人々を救済するということです。ありがたいことに、お大師さまは今もなお、高野山奥之院にて私たちを見守つてくださっているのです。

興正寺では、毎月の御影供（月並御影供）は、西山本堂にて二十一日十四時から行われています。正御影供は、去る四月十五日に行われた「御正當」のことです。参加いただいた方もいらっしゃるかもしれませんね。こちらは興正寺では旧暦を見ますので毎年日付が変わります。

御影をよく見てみよう

ツウの細道

「虚空尽き、衆生尽き、涅槃尽きなば、我が願いも尽きなん」

お大師さまが最後に残された言葉です。宇宙の果てまで煩惱が無い静かな状態になり、それすらも無くなつて生きとし生けるもの全てが輪廻から抜けるまで。本当に何もかもが苦しみの中から抜け出た状態になつたならば、私の願いもようやく終わるでしようという、摂取不捨のご誓願だと私は思います。

南無大師遍照金剛



△お大師さまの御手

お姿に、感謝の心を供える

加持し守護していくべきであります。

『南無大師遍照金剛』とお唱えすれば、お救いくだ

毎月二十二日はお大師さまをお祝いされ、多くの信者がお参りいたします。これはお大師さまの慈悲に触れようとする信仰の願い。十五日、二十九日、三月三日、五月五日、七月七日、八月八日、九月九日、十一月十一日、十二月二十三日にはお大師さまを祀る祭典が開催されます。

ること)の「禁廟が表れているのです。

六回にわたり、お大師さまのご生涯を書いていきます。一緒に、お大師さまの歩みをたどってみることにしま

△お大師さまの御手



縁日さんぽ

今月の縁日さんは、毎月21日・弘法大師縁日の紹介

弘法大師信仰の中心

弘法堂

東山にある弘法堂は興正寺開山天瑞圓照和尚百回忌に建立されました。開山堂とも呼ばれ、弘法大師・開山天瑞圓照和尚・興正菩薩御尊の三祖がお祀りされています。毎月21日の弘法大師縁日のみではなく、知多四国靈場参拝や弘法大師空海を慕う参拝者で年中お参りが絶えません。また毎月21日は、興正寺マルシェも西山で開催され、多くの人にぎわいます。

弘法堂の年間行事

・初弘法(1月21日)

一年の初めの弘法大師縁日では「授戒」が行われます。蠟燭の僅かな灯りが照らす暗闇の堂内で、仏の示された戒めを阿闍梨さまより直接授かり、ご法話をいただく儀式です。



・弘法講団体参拝(4~5月開催)

毎年春に一度、興正寺弘法講の皆さまと大本山巡礼の団体参拝を行っています。堂守の正優さんと行く団体参拝は毎年大人気、ご予約はお早めに!



弘法講とは…お大師さまの教えを守り、弘法堂を盛り立てて行く僧侶・信徒さまの集まりです。どなたでも参加いただけます。講員希望の方は正優さんまで。弘法講に入ると、この講員バッジがもらえます。



お参りしよまい!興正寺の諸堂縁日

興正寺の縁日は5日と13日だけじゃありません!山内のあちらこちらにある御堂で、様々な仏さまをお祀りして縁日のおつとめを行っています。誰でも参加できるこれらの縁日、御堂や担当のお坊さんによって雰囲気が全然違うんですよ!



団体参拝報告

5月7日 弘法講十八本山 巡礼



(随行僧侶) 三井正優 (随行僧侶) 大塚正圭

清々しい新緑の風薫るなか、奈良生駒山・信貴山の二ヶ寺を参拝いたしました。階段が多く難所もありましたが、本堂からの景色は格別でしたね。信貴山にてご祈祷を頂いたお方は、弘法堂内にお祀りしております。次の21日に是非ご覧ください。来年は京都を予定しております!!次回もご一緒できるのを楽しみにしております。楽しいひとときを有難うございました。合掌(正優・正圭)



団体参拝報告

4月22日 修養会やすらぎ団体参拝



(随行僧侶) 桐田英伸

修養会団参ということもあり、行きの車中で今回のテーマ「興正寺開山天瑞圓照和尚と真言律」について学びました。元興寺・西大寺参拝は、それぞれの寺院のご僧侶にご案内いただき、お堂参拝、宝物拝見、大茶盛など、非常に有意義なものでした。よいご仏縁をいただいた一日でした。(英伸)





△団を束ねる時は厳しい雰囲気の山崎さんだが、子どもたちの事を語る頃は優しさに満ちている



△4月に行われた上進式は、緊張とワクワク感にあふれた子ども達の姿があった



●山崎 春雄さん

自身の子どもがボーイスカウトに入団したことをきっかけに、20年以上团委員としてボーイスカウトに関わり、2013年から团委員長として名古屋第一団をまとめている。

「僕が名古屋第二団に携わるよりずっと前、もう六十五年くらい前から興正寺さんが団の提点なんです」と語るのは、ボーイスカウト名古屋第一団の团委員長である山崎さん。昭和二十二年に発隊した名古屋第一団は、最初は名古屋錦にある小学校を借りて行っていた。そして、昭和三十九年にかねてから自分たちの提点を持ちたい、と考えていた当時の団委員長が興正寺へ交渉し、「子ども達のためになるなら」と興正寺の土地の一部を提点として提供したのがきっかけだった。

山崎さんは息子さんがボーイスカウトに入ったことで間に携わるようになり、今では团委員長を務め、月に最低二~四回は提点である興正寺

に足を運んでいるが、以前はお寺の前を通るくらいで足を踏み入れたことほとんどなかったという。「息子をはじめ多くの子ども達が興正寺での活動を通して色々な経験と思い出を重ねてきました。正直、神社仏閣にはさほど興味がなかつたですが、興正寺さんを通わせてもらうようになつてから、自然と仏さまに手を合わせたり、境内を散策したりするようになります。また、七十年を迎える名古屋第一団。大規模なキャンプが企画されている他、興正寺でもスカウト以外の一般の子ども達も参加出来るような企画を考えた」と。『興正寺さんのおかげで都への中でも子ども達が自然に触れ、スカウト活動ができる』。これからも子ども達の成長の場として見守つてもらえれば」と山崎さんは目を細めた。

興正寺は、子ども達が成長する場所です。

ボーイスカウト愛知連盟 名古屋翼地区
名古屋第1団 团委員長

山崎 春雄さん

人と街とお寺をつなぐ場所
八事山文庫

水無月

旧暦六月のこと

芒種

六月五日

夏至

六月二十日

身口意

身体・言葉・心。この三つを同時に高めていくことが大切だというお大師さまの教えの一つです。このコーナーでは、声に出して誰かに聞かせてあげたい言葉たちを毎月ご紹介します。

親子で読みたい

ことのは
あそび



ごびらうふとは何者か。それは1匹の蛙の事。蛙が「蛙語」で幸福というものについて語る、大変ユーモラスな詩です。草野心平(1903-1988年)は福島県いわき市出身の詩人。「蛙の詩人」と呼ばれるほど、生涯に渡つて蛙をテーマにした詩を書き続けました。

興正寺での活動をはじめ、キャンプなどの様々な野外活動を通して、子ども達は失敗を糧にしながら成長していくことを覚えていく。入隊ですよ」とのこと。

夜ひる眠らない馬力のはてに暗闇のなかの世界がくる。みんな孤独で。

〔「ごびらうふの独白(抜粋)」草野心平〕



黄ショウブ(外来種です)

まず訂正を。先月号に載せた椿「紅唐子」のルビが間違っていました。「べにから」とが正しい読み方です。申し訳ありませんでした。

さて、時々参拝者さん達相手に境内やお山にある木々や花のご案内をすることあります。まだ浅い春の日の干支巡りの

最中に、得意げに興るとわざとく寒アヤメではないかとのこと。董灯池の中に咲く梅の花と一緒に咲く花菖蒲です!」なんて紹介をしたら(本当に2月の最初に咲くのです)「あれは違いますよ!」つて。先月の杜のコラムにもあつたように、アヤメ科の類は見分けがつきにくいですね。この不思議な花は専門家によるとおそらく寒アヤメではないかとのことです。董灯池の中もきれいです。董灯池の水はそのままビオトープに流れています。

5月の連休明けに諱の穂や半夏生、ミツハギなどの様々な種類の草花の中に花をつけるのは、実は花菖



東アセア



仙事の

身を清めて、鐘をついて、
いよいよ本堂にやってきました！

ではまず 仆さまにお供え物をしましょうか



— 10 —



その 29 「お参りの仕方③」(全5回)

仏のこと、なんでも知ってるって人はいますか？
自信をもって手を挙げられる人は少ないんじゃないのかな。いざその時になってみないとわからない仏事のあれやこれ、お坊さんに聞いて一つずつ解決っちゃいましょう。

いいえ、ひふみちゃんもよく知っているものですよ。まず本堂へ来たら探すものは蠟燭立てです。ここで「蠟燭」「お線香」をお供えしましょう。仏さまは香食といって、お線香のよい香りを召し上がるんですよ。お寺に置いてある事も多いですから手元になければ聞いてみましょう。それから「お賽銭」もお供え物の一つです。お賽銭箱の中にそっと入れます。お供えですから、決して乱暴に投げ入れないでね。

興正寺ホームページでは仏事のお悩みをズバッと解決!トップページから、「仏事とお墓のお悩み解決」をクリック!



石碑でめぐる歴史浪漫

文化人、芸術家、武術家と紹介してきました。石碑案内。今日は起業家・熊崎惣二郎氏の顕彰碑をご紹介します。

愛知県は産業が盛んな地で、その代表格といえばトヨタ自動車でしょう。そのトヨタの本拠地である豊田市は昭和三十一年に挙母市から名称が変わって誕生しました。そして更に時代をさかのぼった挙母町時代、現在のトヨタ元町工場は飛行場でした。

この飛行場を作ったのが熊崎惣二郎(一八八九~一九六四)です。名古屋の起業家であつた熊崎は、昭和五年、農地として開拓するには不向きな衣ヶ原一帯に十二万坪の土地を購入し、昭和十年に国の許可を受け、翌十一年に衣ヶ原飛行場を建設しました。



△熊崎惣二郎顕彰碑と奥に見える大日堂

行機を多くの人が笑顔で見上げました。

また熊崎は飛行場建設のほか、区画整備をして道路、別荘、遊園地を作り地元の人を雇い入れて地域の発展にも貢献しました。

その人柄を偲ぶ逸話が残されています。「娘にピアノをねだられた時、「家にピアノがあるても弾くのはお前たちだけだが、学校にあれば皆が弾ける」と、名古屋の八事の小学校にピアノを寄贈した」というものです。

石碑は「三好町第三区 三好下青年会」による建立です。地域に貢献し、夢と笑顔を与えたその功績をたたえてのものです。西山から大日堂前広場に出る左角に桜の木に囲まれて立っています。(川村)

七 熊崎惣二郎翁顕徳碑

茶の扉 夏コース

茶の湯と煎茶の客作法を体験する3回連続講座。初めてのお茶室体験におすすめです。

- ◆日 時: 7月27日(木)・8月31日(木)・9月28日(木)
①10時~12時 ②14時~16時
- ◆人 数: 各回12名
- ◆場 所: 興正寺 茶室竹翠亭 ◆支具料: 2,000円

—マルシェ茶会— 僧侶のお点前で楽しむお茶会

喧騒を離れ、静かな空間で心安らぐひととき。僧侶のお点前とお話しは、お寺ならでは。予約優先、当日受付もいたしております。

- 日 時: 6月21日(水)11時~/12時~/13時~/14時~
※各席40分程度
- 場 所: 興正寺 茶室竹翠亭 ○参加料: 500円(抹茶料含む)

竹翠だより お茶が教えてくれた あわせ

毎月二十一日のマルシェ茶会はご僧侶のお点前で二服をさしあげる茶席です。あらわすとおり竹の緑に包まれ季節がめぐります。

竹翠亭は竹林の中に佇む茶室で、名が竹の廊下と名付けられた水墨画の襖絵もしかり。玄関から連続して描かれている竹は庭の竹林へ続き吸い込まれていきます。天気や湿度の違いで時には幽玄な空氣を醸し出します。西日が射す時間に南縁にお座りいただくのもおすすめです。手延べ硝子越しの窓の葉影のいたずらはまるで光の万華鏡のようです。また、これから季節の青竹は、すがすがしい色とみずみずしい肌合いから涼の器としても好まれます。

自然の美しさを中に外に自由自在に取り込む先人の感性に習って、竹翠の美しさをもっと発見できたらいいなと思います。

「竹に想う」

「お寺でお泊り会」in 興正寺

夏休み。笑って…笑って…
お寺で過ごす2日間

八事山
興正寺

予定
日程

第1回 平成29年7月23~24日 (日・月)
第2回 平成29年8月23~24日 (水・木)



1日目
楽しいレクリエーション!
バーベキューに花火など
夏の思い出を作ろう

2日目
お寺でプチ修業体験
お坊さんと一緒にドキドキ修業!
スケジュールや内容は変更の場合がございます。

お泊り会の後も楽しいよ!
お泊り会の後は、
子どもを守る仏さま、
お地蔵さまの
縁日に参加してみよう♪

お泊り会に参加していない方も
ご自由にご参加いただけます

参加資格

小学校1年生~6年生までのお子さま

※身の回りのことが一人でできること・お寺との約束事がきちんと守れること

募集定員

各回30名まで(計60名まで) 支具料 7,000円(レクリエーション保険費含む)

応募方法

■興正寺公式ホームページ新着情報
「お寺でお泊り会」WEB応募フォームから



■URLから
<https://ws.formzu.net/fgen/S82225136/>

◀QRコードからもご応募いただけます

申込締切

平成29年
6月11日(日)
18:00
まで

当選発表

- 応募者多数の場合は、抽選となります
- 当選者の方には、締切後当選通知のメールをお送りいたします
(なお、落選の方へはご連絡をいたしませんので、
あらかじめご了承ください)

子ども寺子屋くらぶ

日本の夏の色であそぶ ~藍染めの雪花絞り~

日本の伝統文化に触れて学ぶ、子ども寺子屋くらぶ。
お申込みは6/1(木)開始【電話とWEB】

- 日 時/平成29年6月25日(日)10時~12時30分
- 参加費/こども1,000円(材料・呈茶付) 付添い500円(呈茶付)
- 内 容/①藍染め体験
②お抹茶をいただく



※画像はイメージです

お寺の法会
まるごと体験!いちにちしゅうようえ
一日修養会

平成29年8月6日(日)9時30分~15時

「布薩会・法話・特別対談(予定)・法会参加・写経」
~戒めを守る誓いを新たにする日~

- ◎支具料:一般2,300円/社の響会員1,300円(昼食付・特別朱印授与)
- ◎定員:60名要予約 ◎申込締切:8月3日(木)
- ◎お問合せ・お申込み:WEBもしくは電話(052-832-2801)
- ※スケジュールや内容は状況などにより変更になる場合がございますのでご了承ください。
- ※支具料は事前にお納めいただけます。
(今後の予定)12月3日(日)

大誠法衣店 かとう石店 播磨屋井上
松崎仏具漆工(有) 川名の花重
名古屋ベットモーティシャン
青山孝子 井上明美

御正當志納
ご芳名

至自	平成二十九年四月三十日	平成二十九年四月一日	平成二十九年四月一日	平成二十九年四月一日
△口	近藤英介	伏屋廣之	近藤山花梨	近藤彩乃
△口	八事山興正寺	八事山興正寺	八事山興正寺	八事山興正寺
△口	心より感謝申し上げます。合掌	（順不同 敬称略）	（順不同 敬称略）	（順不同 敬称略）
△口	ありがとうございました。	ありがとうございました。	ありがとうございました。	ありがとうございました。

能満堂修復志納
ご芳名

— 2017年 終活道場 開催のお知らせ —

一日修行体験・特別篇

終活道場

—「死生観」を考える、お寺だからできること—

自らの終わりを見つめることで今を生きることを考え、
自分を見つめ、自分らしく生きること。
興正寺がご提案するお寺ならではの「終活道場」で、
あなたの今を見つめなよしてみませんか。

— 私たちがご案内いたします —

講師



興正寺僧侶 桐田 英伸

案内人

FPO OFFICE
総務部 代表 林直子氏

僧侶の視点から「生と死」を見つめる本当の終活を行います。終活道場に限らず、寺内講座「一日修養会」「仮典読み解き講座」「茶の古典を読む会」の講師も務めています。

日本FP協会会員 ファイナンシャルプランナー。最後から終末期までのプランニングに軸足を置き「自分らしい」心のこもった終活をかなえるため、相談・執筆・講演を行っています。

開催日程 ①2017年 6月18日(日) ②9月9日(土) 支具料 3,500円(昼食付き) 定員 15名[先着予約制]

●詳しい内容やお申込についてはお問い合わせください。 ●内容は場合により変更されることがあります

八事山 興正寺 受付時間のご案内

新御・供養(懇向・法要)	9時~16時 (最終受付15時30分) 《予約優先》	当日受付はお待ちいただけます ※西山本堂(靈牌殿・位牌殿含む)は毎時00分より 開堂は毎時30分より
納経所(受付)	8時~18時	御守・御朱印・おみくじ・納経・その他授与品
永代供養受付	10時~17時 《予約優先》	毎週火曜定休 ※毎月5日・13日・21日と行事日を除く
普門園	10時~16時 (最終受付15時30分)	拝観料 500円(多宝塔奉事での受付料 不定休) ※毎月5日・13日 9時~
甘味・食事処 八琴庵	10時~16時 (L.O.15時30分)	毎月5日を過ぎた火曜定休 ※毎月5日・13日 9時~

各諸堂の参拝時間 (お堂の外からの参拝は24時間可)

諸堂	御堂(堂内参拝可)	閉扉
西山本堂 靈牌殿・位牌殿含む	毎日 8時~17時 ※法会中はお待ちいただけます	-
大日堂	毎月8日 12時30分~14時	-
諸満堂	毎月24日 13時~14時30分	左記開堂日程外 9時~16時
圓之院	毎月15日 13時~14時30分	-
般若堂	毎月18日 13時~14時30分	左記開堂日程外 9時~16時
弘法堂	毎月21日 10時30分~12時	-
不動護摩堂	毎月28日 14時~15時30分	-

行祭事等により変動する場合がございます。ご了承ください。

霊龕堂の参拝時間 (下記行事以外の通常時/開堂8時~閉堂17時)

行事	日程	開堂~閉堂
年末年始	平成28年12月31日~平成29年1月3日	7時30分~17時
春季被岸 ※1	3月17日~23日	7時30分~17時
般若会	6月10日	8時~20時
七月堂	7月13日~15日	7時30分~20時
八月盆・施餽鬼 ※1	8月10日~16日	7時30分~17時
秋季被岸 ※1	9月20日~26日	7時30分~20時
觀月会	10月4日	8時~20時
千燈祭	10月7日~8日	8時~20時

※1 19時より合団法要のある日は供養会終了時まで

圓照堂の参拝受付時間

(下記行事以外の通常時/9時~17時 最終受付16時30分)
※圓照堂本殿は開堂8時~閉堂17時

行事	日程	受付時間(参拝・寄出)	本堂開堂~本堂閉堂
年末年始	平成28年12月31日~平成29年1月3日	事前予約制 ※1	7時30分~17時
春季被岸	3月17日~23日	事前予約制 ※1	7時30分~17時 ※2
般若会	6月10日	9時~19時30分	8時~20時
七月堂	7月13日~15日	事前予約制 ※1	7時30分~20時
八月盆・施餽鬼	8月10日~16日	事前予約制 ※1	7時30分~17時 ※2
秋季被岸	9月20日~26日	事前予約制 ※1	7時30分~17時 ※2
觀月会	10月4日	9時~19時30分	8時~20時
千燈祭	10月7日~8日	9時~19時30分	8時~20時

※1 受付時間については、お問い合わせください。

※2 19時より西山本堂で合団供養会のある日は供養会終了時まで

6月の興正寺講座

佛讃歌

御詠歌上級

講師 鈴村隆弘
6月6日・15日・23日 13時30分より 光明殿
金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

御詠歌初級

講師 鈴村智弘
6月10日・21日・25日 14時より 光明殿
金剛流御詠歌の初級講座です。21日は本堂出仕。

御詠歌入門

講師 鈴村智弘
6月3日・17日 14時より 光明殿
金剛流御詠歌の超入門、お作法や符の読み方からはじめます。

体験する

阿息観(密教禪)

講師 杉浦宣秀
6月10日・20日・30日 14時より 普照殿/奥之院
ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやってあります。誰でも心地よくリラックスできますよ!

阿字観

講師 杉浦宣弘
6月24日 奥之院
真言密教の基本的な瞑想法です。阿息観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

写経・写仏

講師 樹田英伸
6月21日 11時より 光明殿
毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。13時より法話あり。

学ぶ

仏教入門講座

講師 森田泰澄
6月29日 14時より 普照殿
難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。脱線話も多いので気楽に参加できますよ。

仏典読み解き講座

講師 樹田英伸
6月28日 10時より 普照殿
仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著『往生要集』を読み解いていきます。

※日程・会場は変更する場合がございます。事前にお電話にてご確認ください。

健康づくり

ゆらゆらペアストレッチ

講師 町田一寿
6月13日 ①10時②11時30分より 普照殿
支具料1,000円(予約優先当日参加可)

TERA-YOGA(寺ヨガ)

講師 西口のぞみ
6月21日 10時より 普照殿
支具料2,000円(要予約・〆切前日17時)

マタニティヨガ

講師 西口のぞみ
6月21日 13時より 普照殿
支具料2,000円(要予約・〆切前日17時)

マンスリー木曜ヨガ

講師 スタジオソラ
月に1度木曜日(不定期)19時30分より 西山本堂/普照殿
支具料2,000円(要予約・〆切前日17時)

遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる少人数制の講座です。時間や講座内容について、竹翠亭へお問い合わせください(全て要予約)。

写経

講師 西山海良 支具料1,500円
6月6日

阿息観

講師 西山海良 支具料1,500円
6月20日

日々折々の書

講師 中村均 支具料2,000円
6月26日

水墨画

講師 山田静舟 支具料2,000円
6月23日

きもの装い(入門・応用)

講師 小泉美代子 支具料2,000円
6月7日

茶の古典を読む

講師 樹田英伸 支具料1,500円
6月8日

御詠歌上級・初級を除くすべての講座でWEB予約が可能となりました。興正寺公式ホームページ「まなびの講座WEB受付」よりお申し込みください。

八事のお山を護るチカラ

[運営だより]

興正寺の広い境内は、興正寺公園と呼ばれる二つのお山の中にあります。気持ちはあれど、これだけの山や境内を常にきれいにしていくのは至難の業です。清掃や修繕はご僧侶の作務の他、営繕衆という寺を保全することを目的に働くグループがいます。その他、高齢者事業団やシルバー人材などのプロの清掃業の方達も力を振るってくれます。他にも、寺の周辺の公共の場を清掃する「八意之会」(やごころのえ)というボランティアグループが、月に1度活動をしてくれます。

また、「八事里山づくりの会」は、八事のお山を中心自然と環境を考えたボランティア活動を行っています。昭和区という街中にある、この広大な自然と寺を次代に残す財産として守り、育てていこうという気持ちの元、活動を続けています。個人でもお掃除や草抜きなど、ちょっとした気持ちを示して下さる方たちも多いです。そういった皆さまの善意が山を包んで興正寺を護っているのです。



八意之会清掃風景



興正寺営繕衆による樹木管理

興正寺行事カレンダー

6月

普門園拝観時間 10:00~16:00

休園日 / 3日(土)・4日(日)・10日(土)・11日(日)・17日(土)・24日(土)

月	火	水	木	金	土	日
29 友引	30 先負	31 仏滅	1 大安 ☆団体参拝 高野山参拝(要予約)	2 赤口	3 先勝 △御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘	4 友引 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂
5 先負 芒種 ○大陸求明王 緑日 露店アリ 9:30 11:00 特別不動尊巡り ○不動護摩堂大祭 不動不屈不退転護摩 10:30 12:00 不動護摩堂	6 仏滅 △遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 △御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘 ★八琴庵定休日 ★永代供養受付定休日	7 大安 △遊翠の心 きもの装い 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 △遊翠の心 想耕茶会 11:00 12:00 13:00 14:00 竹翠亭 要予約優先 支具料 1,000円	8 赤口 ○大日如来緑日 12:30 大日堂 理趣分經祈禱 苗え祭 △遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 樹田 英伸	9 先勝 大日如來	10 友引 △阿息觀 14:00 観音堂 杉浦 宣秀 △御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘 ★觀蜜会(放生会) 19:45 ビオトープ	11 先負
12 仏滅	13 大安 ○虚空藏菩薩 緑日 露店アリ 9:30 11:00 特別不動尊巡り 10:00 法話会 ○不動護摩堂大祭 不動不屈不退転護摩 10:30 12:00 ☆ゆらゆらヘアストレッチ 10:00 11:30 普照殿	14 赤口	15 先勝 ○東山 奥之院緑日 13:00 奥之院 善之綱おくり △御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘	16 友引 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂	17 先負 △御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘 ★月夜阿息觀 19:00 観音堂 要予約 支具料 1,000円	18 仏滅 ○觀世音菩薩緑日 13:00 観音堂 護摩祈禱/法話 ★終活道場 10:00 大書院 要予約
19 大安	20 赤口 △遊翠の心 阿息觀 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 △阿息觀 14:00 普照殿 杉浦 宣秀 ★永代供養受付定休日	21 先勝 夏至 ○弘法大師緑日 10:30 弘法堂 読経/法話 ○月並御影供 14:00 本堂 △写経写仏講座 11:00 光明殿 △御詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 鈴村 智弘 ★TERA-YOGA 10:00 普照殿 要予約 ★マタニティヨガ 13:00 普照殿 要予約	22 友引 △遊翠の心 茶の扉 竹翠亭 要予約 ☆マンスリーモニタリング 19:30 普照殿 要予約	23 先負 △遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 △御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘	24 大安 ○地蔵菩薩緑日 13:00 能満堂 大数珠おくり/ 紙芝居 △阿字觀 13:00 奥之院 杉浦 宣弘	25 赤口 △御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘 ★子ども寺子屋くらぶ 竹翠亭 要予約
26 先勝 △遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	27 友引 ★永代供養受付定休日	28 先負 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂 ○不動明王緑日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話 △仏典説解講座 10:00 普照殿 樹田 英伸 不動明王	29 仏滅 △仏教入門講座 14:00 普照殿 森田 泰澄	30 大安 △阿息觀 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	1 赤口	2 先勝

観音堂特別企画

ゆらぐ灯りの中心静かに過ごす夜のひととき

つ ょ よ あ も ん く か ん

観音堂

月夜阿息觀

月夜阿息觀とは、ローソクの燈火を月明かりに見立てて行う瞑想法です。
僧侶の指導のもと、明かりを見つめながら呼吸と心をととのえていきます。
瞑想が初めての方でも安心して体験できる内容となります。

夜のお堂で、心しづかに静寂なひと時を過ごしませんか?

日 時: 6月17日(土) 開始/19時 終了/20時30分

定 員: 20名 要予約 (WEB申込優先)

支 具 料: 1,000円 (ろうそくセット付)

申込方法: WEB申込、来寺申込